



環境部自然環境部会:ホタルの里作り事業

令和5年度「ホタルさんへのお手紙」の集計報告と紹介



ホタルの季節が終わって早や4ヶ月あまりが過ぎました。晩秋の気配を感じられる今日この頃です。

ホタルウイーク期間中、土京川の観賞路を訪れた子どもたちにお願した「ホタルさんにお手紙下さい」の取り組みも6年が経過しすっかり定着したようです。

今回寄せられたお手紙は42通、内若槻地区内在住者25通、地区外から17通でした。若槻地区内在住のお子様からのお手紙25通中公開不可の2通を除いて紹介します。尚、手紙の中で「ホタルをつかまえた」という表現が見られますが、実際にはホタルのほうから寄ってきて肩や胸などに止まったり、地面に降りて動かないホタルを手のひらに乗せるなどして詳しく観察した体験を言いあらわしたものです。そのような場面に幾度か出合いましたが、観察した後は子ども自らが「ホタルさん来年も会おうね」と声をかけながら周りの草むらに放していました。周りの親たちも、「ほたるさんは来年もたくさんホタルが出てくれるよう卵を産むため毎晩がんばっているのだから仲間のところに帰してあげようね」などと声をかけていました。

ホタルの生態や自然の中で大切な生き物であることの理解がホタルウイークを通じて多くの観賞者の中に浸透していること、ホタルウイークを開催する意義が広く地域に受け入れられていることを実感し大変嬉しく思いました。

尚、この「ホタルさんへのお手紙」の取り組みは作文コンクールではありません。あくまでもお子さんたちからほたるさんへの応援と感謝のメッセージとしてお願いしていますことをご理解下さい。

「ホタルさんへお手紙下さい」の集計とまとめは、ほたるサポーターズクラブに協力していただきました。

(ホタルウイーク実行委員会・自然環境部会・ほたるサポーターズクラブ)

ほたるさんへ ひなた(幼 上野)
ほたるさん、きらきらひかっていたね、
きれいだったよ。ありがとう。

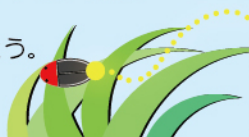


ほたる ひなた(保・年長 上野)
ほたるがいっぱい。
かわぎしにいました。



ほたるだいすき
ちひろ(幼・年長 若槻東条)
ほたるさん、いちにちいっぱい、ちひろのてにのってね。
ほたるさん、くさはたべる?
ほたるさんいつもありがとう。

かわいかったね、きれいだったね
よしの こさき(幼・年長 若槻団地)
めっちゃきれいだったね、またきてね、みせてくれて
ありがとう。ありがとう。
めっちゃやめっちゃやくっちゃやありがとう。
ほたるさんみせてくれてありがとう。



ほたるさんへ たにおく にいな(幼・年少 若団)
ほたるさんとってもきれいだったよ。
またみにいきたいな。だいすきだよ。

ほたるさんへ たにおく ゆうな(幼・年長 若槻団地)
ぴかぴかひかっててすごくきれいだったよ。
らいねんもあいにくね。ホタルさんだいすきだよ。
またおてがみかくな。ゆうなより

ほたるさんへ あきなり(小1 上野)
ほたるをてにのせました。
ほたるがまえよりおおかったよ。
おうちのまえにもいますよ。



ことな(小1 上野)
ホタルさんかわいかったよ。
めっちゃおしりひかってたね。

ほたるさんへ ももか(小1 稲田)
ちいさなほたるさんかわいいね。すてきだね。
またきれいなひかりをみせてね。またいくからね。